

# 「再発または転移性の日本人腎細胞がん患者の予後に影響する 背景因子を検討することを目的とした研究」について

研究責任者 チームリーダー 清田 純  
所属 理化学研究所 情報統合本部 先端データサイエンスプロジェクト  
医療データ深層学習チーム

## 概要(目的・利用方法含む)

成人の腎臓に発生する主な悪性腫瘍の85%を占める腎細胞癌は、近年の画像診断機器の普及により、無症状で小径の腫瘍が発見されるようになり、今後患者数が増加すると見込まれています。また、転移性腎細胞癌は、近年、分子標的薬(病気の原因に関わる特定の分子だけを選んで攻撃する薬)等の新しい治療薬の登場により治療成績が改善してきていることから、現状に即した、予後に影響する背景因子の同定が重要となっています。本研究は、転移性腎細胞癌の予後に影響する背景因子について網羅的に検討を行うことで転移性腎細胞癌の予後に関する新たな知見を見出し、新たな仮説を創出することを目的としています。また、近年転移性腎細胞癌の薬物治療を行う上で腫瘍組織の免疫環境を評価することが注目されていますが、全ての患者さんでそのような検査をすることは困難です。この研究では一般的な臨床所見や臨床検査値、疾患情報によって腫瘍組織の免疫環境を予測するモデルについても探索する予定です。

## 1. 研究の対象となる方

この研究の対象となる方は、全国29施設で2010年1月1日～2015年12月31日までに再発又は転移性腎細胞癌に対する全身薬物治療を受けた患者さん770例です。

## 2. 研究に用いる情報の種類

この研究では、2010年～2015年に転移性腎細胞癌の治療が行われた患者さんの治療や疾患に関わる情報を用います。

理化学研究所は、氏名など個人を特定することのできる情報を削除して番号などに置き換え、どの患者さんの情報であるか分からないようにした情報を受け取り、研究を行います。

提供いただいた情報を用いた解析は、承認を受けた者のみで行います。情報は、内部の規程に従い厳重に管理します。

## 3. 外部からの情報の提供

この研究では、研究課題「再発または転移性の日本人腎細胞がん患者の予後に影響する背景因子を検討することを目的とした研究」において、中外製薬に保管されているデータを理化学研究所で使用させていただきます。

#### 4. 外部への情報の提供

理化学研究所で解析を行った結果を、中外製薬、慶応義塾大学に提供します。

#### 5. 研究期間

2022年3月29日(本研究倫理承認日)～2023年3月31日(終了予定日)

#### 6. 研究組織

##### 【本研究の代表機関】

・中外製薬株式会社 メディカルアフェアーズ本部 (代表者) 大内 香

##### 【共同研究機関】

・慶応義塾大学医学部泌尿器科学 (代表者) 田中 伸之

##### 【研究データ提供機関】

・中外製薬株式会社

##### 【解析機関】

・理化学研究所 情報統合本部 先端データサイエンスプロジェクト 医療データ深層学習チーム

(代表者)清田 純

#### 7. 研究参加の辞退について

研究への参加はいつでも取りやめることができます。情報を提供いただいた後でも、その情報の研究利用を停止することができます。研究への利用停止をお申し出いただくことによって、不利な扱いを受けたり、不利益になったりすることは一切ありません。

提供いただいた情報などの研究への利用停止に関しては、下記の連絡先までお申出ください。

理化学研究所 情報統合本部 先端データサイエンスプロジェクト 副プロジェクトリーダー

江口 有

電話番号： 050-3495-0048

#### 8. お問い合わせ先

その他、この研究の内容などについてご不明な点やご質問などがありましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

##### 【この研究の内容に関するお問い合わせ先】

担当者：江口 有

所属：理化学研究所 情報統合本部

先端データサイエンスプロジェクト 副プロジェクトリーダー  
住所 : 横浜市鶴見区末広町 1-7-22  
電話番号: 050-3495-0048

【 苦情に関するご連絡先 】

理化学研究所 横浜事業所 研究倫理担当  
住所 : 横浜市鶴見区末広町 1-7-22  
電話番号: 045-503-9133